



ISUMI CITY  
ASSEMBLY

# いすみ議会だより

発行：いすみ市議会 編集：議会だより編集委員会 2006. 8. 1発行  
〒298-8501 千葉県いすみ市大原7400番地1 TEL 0470-62-1406 (議会事務局)

ホームページアドレス <http://www.city.isumi.lg.jp/> メールアドレス [gikai-gizi@city.isumi.lg.jp](mailto:gikai-gizi@city.isumi.lg.jp)



海上安全祈願パレードへ出港 (大原漁港)

## 主な内容

- 議長・副議長選出(臨時議会) 2ページ
- 平成18年第2回定例議会 2ページ
- こんなことを決めました 3ページ
- 決算審査報告 4ページ
- 一般質問 5ページ

## 第3号

平成18年  
第2回 臨時議会  
第2回 定例議会

# 平成18年 第2回臨時議会

## 議長に小安俊夫氏、 副議長に半場新一氏を選出

平成18年第2回臨時議会が、5月11日に招集され、議長に小安俊夫氏、副議長に半場新一氏が選出されました。

この臨時議会では、専決処分された条例を承認したほか、いすみ市農業委員会の選挙による委員の選挙区及び各選挙区の定数条例の一部改正議案、夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部改正に関する協議議案が提出され、それぞれ原案のとおり可決され閉会しました。



議長  
小安俊夫



副議長  
半場新一

# 平成18年第2回定例議会

## 合併前の平成17年度決算など35議案を審議

第2回定例議会は6月14日から7月5日までの22日間の会期で開催されました。この定例議会で審議された議案は、合併前の平成17年度夷隅町、大原町、岬町の一般会計及び各特別会計決算並びに夷隅町・岬町清掃組合決算認定議案をはじめ、平成18年度補正予算、各種条例の制定及び改正、助役の選任など35議案が提出され、慎重審議の結果いずれも原案のとおり可決・認定・同意されました。

また、請願2件の審議も行われ、いずれも採択されました。

さらに、意見書の提出に係る3件の議員発議案についても、それぞれ原案どおり可決され、欠員となっていた議会運営委員会委員及び夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会議員もそれぞれ選出され、ほかに、議会で推薦することとなっている農業委員会委員の推薦も行いました。

6月定例議会の一般質問は、9人の議員が登壇し、市の一般事務について質問しました。



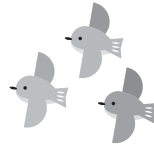
掃組合歳入歳出決算認定

◎いすみ市集出荷場の指定管理者の指定

(有有限会社夷隅町農産物直売所を指定管理者として指定するため議会の議決を求めたものです。)

◎助役の選任

(渡辺雅文氏を選任することに同意したものです。)



その他の議案

◎農業委員会委員の推薦

(任期満了に伴い、農業委員会等に関する法律の規定により、議会推薦の委員として次の4名を推薦しました。)

■鈴木 勘 蔵 (夷隅)

■松 崎 伊三郎 (大原)

■峰 島 利 夫 (岬)

■石 井 幸 夫 (岬)

◎繰越明許費繰越計算書報告

◎事故繰越し繰越計算書報告

◎事業会計予算の繰越計算書報告

報告

議員提出議案

◎大多喜町堀之内地区に建設計画されている「産業廃棄物最終処分場」に関する意見書

(処分場建設に際し、地域住民の意思を反映し、熟慮した判断を下されるよう県に対し意見書を提出するものです。)

◎義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

(21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持する。)

請願

◎「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書(採択)

◎「国における平成19(2007)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書(採択)



議会構成

◎議会運営委員会委員の選任(欠員となっていた議会運営委員会委員に及川文夫議員を選任したものです。)

◎夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会議員の選挙(欠員となっていた夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会議員に山口 稔議員を選挙したものです。)

持するよう求め、関係省庁等に意見書を提出するものです。)

◎国における平成19(2007)年度教育予算拡充に関する意見書

(未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であることを再認識され、国財政が非常に厳しい中ではあるが、必要な教育予算を確保することを求め、関係省庁等に意見書を提出するものです。)

議員提出により可決した意見書を関係機関に送付しました。

意見書を提出しました

- ◎大多喜町堀之内地区に建設計画されている「産業廃棄物最終処分場」に関する意見書  
《提出先》千葉県知事
- ◎義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書  
《提出先》内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣
- ◎国における平成19(2007)年度教育予算拡充に関する意見書  
《提出先》内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

決算  
審査  
報告

平成17年度の旧各町の一般会計及び各特別会計決算並びに夷隅町・岬町清掃組合決算を審査するため、12名の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、6月19日から21日に委員会審査が行われました。各会計決算は、合併による平成17年12月4日までの打ち切り決算であるため、前年度との比較は難しい中、予算が議決どおり公平かつ適正に執行されたかどうかを重点に審査を行いました。

なお、7月5日の定例議会最終日に、決算審査特別委員長がこの審査の内容と結果を報告し、本会議において全ての議案が認定されました。



# Q&A 一般質問 市政をきく

6月定例議会の一般質問は、6月15日に市政全般に対して活発な質問が行われました。

ここでは紙面の関係で要約した質問及び答弁の一部を掲載いたします。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録を詳しくご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ、または、夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。(6月定例議会分の会議録は9月中旬ごろ公開を予定しています。)



## 総合計画の策定について

吉野 勝己 議員

吉野議員 総合計画策定方向と今後のスケジュールについて、また、重点項目の定め方について伺いたい。  
さらに、合併前の旧町で提出した要望事項を今後どう取り扱うのか。

市長 総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3つに構成されており、まちづくりの目標であります将来の都市像を掲げ、それを実現するための施策を明らかにするための計画であります。

また、この総合計画は基本構想として、平成20年から29年度までの10カ年とし、基本計画を平成20年度から24年度までの5カ年を前期基本計画として、実施計画を3年ごとの年次計画

で、ローリング方式をとる予定です。作業的には、18年度と19年度の2カ年で、合併協議の中での新市建設計画や、先日行いました市民対話集会の内容を精査し、市民アンケートや座談会などによる意識調査などを行い、学識の方々による委員会などを立ち上げ、協議・検討を進めて行きたいと考えています。

重点項目の定め方については、合併時に作成された新市建設計画、旧3町の総合計画、国、県の計画におけるいすみ市の位置づけなどを検証して、それらを基本として、時代の流れの中でのいすみ市の置かれている現状や市民アンケート調査の分析を進め、夢と希望のある計画をつくりたいと考えています。

なお、合併協議の中で要望された事業については、新市建設計画に記載されていますので、今後の総合計画に反映させ、計画的に進めていきたいと考えています。

## 観光いすみの考えについて

熱田 彰 司 議員

熱田議員 2004年、旧岬町は「海洋スポーツのメッカ岬町」をキャッチフレーズに、サーフィンなど、海洋スポーツを楽しめる環境の整備として、観光立県千葉モデル地区に指定されたが、いすみ市全体の観光振興に生かせないか。

また、障害者、高齢者、外国人などに配慮した、人に優しい観光地、「ユニバーサルツーリズム」については、県でも推進が図られており、これからの観光産業には大事な課題と思うかどうか。

産業建設部長 現在、千葉県では、観光立県千葉の実現を目指して、地域の特色や支援を行うため、観光立県千葉モデル推進事業を平成16年度に創設しまして、18年度まで各種事業を展開しています。旧岬町においては、平成16年、17年度に、この事業を活用し、マリンスポーツの振興を図ってき

たところですが。この事業は、平成18年度が最終年度ということですので、県で新たな事業が創設された中で、サーフィンフェスタ、及び夷隅川を活用した新規事業を掘り起こし、いすみ全域で事業を推進してまいりたいと考えています。

次に、ユニバーサルツーリズムについては、言葉で表現することは簡単ですが、実現となると、大変な目標であると思います。旅行する側から見れば、当然ながら、旅行する人の身になった旅行の計画時から出発・帰宅までの、総合的に配慮された旅行システムが必要であるし、また、観光地側から見れば、社会環境、自然環境の総合的なユニバーサルデザインの整備が必要になってくるわけですね。ハード面では、交通機関や建築物など、施設の製品や仕組みのデザイン、ソフト面では、人的サービス、



サーファーで賑わう太東海岸

情報・コミュニケーション面のサービス、医療・介護サービスや非常時などの危機対応サービスなど、総合的なことが配慮されなければならぬと考えています。これらについては、市単独では実現できない部分も多々ありますので、関係機関と協力し、鋭意努力してまいりたいと考えています。

## 障害者自立支援法の施行による影響について

高 梨 庸 市 議 員

高梨議員 障害者自立支援法の施行による影響について、いすみ市在住の多くの障害者が利用している福祉サービスが、国の事業としては廃止されるものがあるが、市として存続していくことの重要性について、どう考えているか。

市民生活部長 障害者自立支援法については平成17年10月に成立し本年4月より施行された法律です。

本市において、知的障害者・身体障害者デイサービス事業、短期入所の日中活動及び移送を含めた移動介護事業につきましては、大変重要な事業と考えています。障害者当事者のニーズに即した事業として、現在受けているサービスを継続して受けられるよう、地域生活支援事業の中で取り組んでまいりたいと思います。

また、いすみ市としての独自の取り組みとして、障害福祉サービスにかかわる費用の1割が原則自己負担となったために、利用者の負担増を軽減する措置についても、検討してまいりたいと考えています。



## 元気な「いすみ市」スタートプランについて

齋 藤 義 議 員

齋藤議員 合併協定時には、「いすみ市」長期建設プランを作成するとありましたが、元気な「いすみ市」スタートプランと「いすみ市」長期建設プランとの関係はどのようになっていくのか。

市長 元気な「いすみ市」スタートプランは、新たな発展のため、合併の効果を最大限に発揮し、1日も早く行政のスリム化を図る必要があることから、元気で自立できるいすみ市づくりに向けた行財政改革の基本的な取り組み方針として、今後5年間、行財政改革に取り組むべき課題のうち、早期に実行すべき課題を掲げたものです。この取り組み

により、新たな財源を生み出し、新市建設計画の実現の道が開けるものと思いません。この考えは、財政力の弱い自治体ではやむを得ないことだと考えています。それから、スタートプランと長期プランとの関連ですが、このスタートプランは、簡素な行政運営を指すための組織、定員管理、事務事業等の改革改善方針を示した計画です。一方、総合計画は、長期プランと言いますか、総合的、計画的な行政運営を図るための市の将来の姿、進むべき方向や、各分野の施策並びに手段を明らかにした市の長期改革計画ですので、その中で、このスタートプランに位置づけられました改革事項についても、この総合計画と関連、連動していくものであり、スタートプランの実行によって生み出された財源をもとに、総合計画に計上された事業の円滑な執行が可能となるものと考えています。



## 大多喜町に建設が計画されている「廃棄物最終処分場」のその後の経過、市の対応について

岩 井 豊 重 議員

岩井議員 いすみ市としてどう対応されているか、あるいは大多喜町へどのような対応をされたのか。市民の安全を守る基本的な考え方について伺いたい。

市長 建設が計画されている廃棄物最終処分場は、市の水道水源の流域であることから、環境への負荷、住民生活への影響などを配慮し、設置場所の選択を熟慮するよう、大多喜町に強く要望しているところです。

いすみ市としましては、現段階では、大多喜町の判断

が明確になっていないことも踏まえまして、大多喜町の動向を注視していきたくと考えています。

なお、市としましては、旧夷隅町議会が建設について憂慮していること、千葉県に対しまして意見書を提出していること、また、

### 学校評議員制度の導入について

佐藤 一 夫 議員

佐藤議員 現在市内小・中学校における学校評議員制度の設置状況はどのくらいあるか。設置されている学校があるとすれば、その取り組み状況はどうなのか。

また、学校評議員制度をどのように評価しているのか。

さらに、学校評議員を置く意思はあるのか伺いたい。

教育長 市内小・中学校の学校評議員の設置状況は、平成16年度より、旧岬町の5つの小・中学校に導入されています。会議は年2〜3回行われていますが、学校行事や授業参観などに学校

旧夷隅町の住民が建設について心配しているという事の重大性を真摯に受けとめ、市民が安心して暮らせる地域の実現に向けて、今後とも市民の皆さんの心を大切にして、行動していきたいと考えています。

評議員を招いて、教育活動の実態を把握していただき、学校経営に生かしているところです。

学校評議員制度をどう評価しているかということですが、学校評議員は、学校経営が適切に行われているか、意見や助言をすること、校長の学校経営を支援しており、地域に開かれた学校づくりに寄与していると考えています。

学校評議員については、校長が、教育委員会の承認を得て、学校に置くことができますとされています。今後、各小・中学校における学校評議員の設置について

は、早期に検討していきたくと考えています。

### こども議会の再開・継続について

鈴木 麗 子 議員

鈴木議員 若者の政治離れが指摘されている昨今、小学校、中学生のころから、行政への感心を持つてもらい、活動体験を会得することが必要と考えるが、こども議会の再開、継続についてどう考えているか。

とを考えています。今後、学校側の理解、協力を得た上で、実施に向け検討していきたいと考えています。

教育長 こども議会については、過去に大原町では平成12年度に、旧岬町では平成12年度から17年度まで実施し、児童・生徒に行政の仕組みを理解させ、感心を持たせることができました。

また、市民の一員として郷土を思う心を育むため、こども議会は意義あるもの



旧岬町で開催されたこども議会

## 新国吉病院の運営・役割について

鵜 沢 喜久雄 議員

鵜沢議員 国吉病院の運営

で、特に管理者をどうするかという問題ですが、単独の管理者を置くという手もあるが、市長はどう考えているのか。

次に、これは各地で問題になっているが、病院の職員をどう確保するか。さらに、国吉病院こそ、夷隅郡市の中のセンター的な病院にすべきではないか。

市長 新病院建設後の経営は、構成市町にとって、現在以上の財政負担を必要とする

ことから、大変大きな問題を抱えています。現在の管理者、副管理者は非常勤であり、病院運営全般について、完全に把握しているとは言いがたいので、責任ある病院経営のあり方について、この新病院の建設を機会に、専任管理者制度について検討したいと考えています。

それから、病院職員の確保ですが、全国的に地域

医療の現場で医師の不足が

報じられているところですが、新病院建設に向けても医師の確保が最重要課題です。医師の確保のためには、給与の引き上げ等や研修制度の充実が有効な手段と考えていますが、これらを含めて待遇をどうするか、医師にとつて、国吉病院が魅力ある病院だということに認識していただくような協議、検討をしていきたいと考えています。

次に、夷隅郡市医療のセンター的な病院にということですが、国吉病院の持っている医療資源を有効に活用し、小児科、内科、外科、腎透析などの診療科目を中心に、地域から必要とされる医療を展開したい。

高度な心臓外科、脳外科等、高度医療については、機能分担の考えで、また、地域の医院との病診連携により、地域中核的病院として急性期医療と生活習慣病

の予防と治療、地域になく

てはならない科目を最小限持つ病院としての役割を果たしていくべきではないかと考えています。

## 少子化の対策に結婚相談所を

川 嶋 英 之 議員



川嶋議員 若い人たちの目を、真剣に結婚へと向けさせるため、安定した職場の確保や暮らしやすい住まい

など、若い人の職住環境を整備することが重要と考えます。

市役所の中に結婚相談所を設け、未婚者が気楽に相談する場所があること、さらに、市が仕掛けをつくり、スムーズに結婚事業が進むような方策についても、考えていくべきだと思いがど

うか。

市長 気軽に相談できる場をとの提案ですが、このことについては、多くの民間事業者が参入している分野であり、いすみ市が出来る結婚相談事業をということ

を考えると、各種イベントを通し、若い人たちが集まり、交流できる事業の推進を図っていききたいと思いま

す。特に、農業、漁業の後継者の結婚などが非常に厳しいことや、定住人口の増加を図るため、海と農業、地場産業を主体とした各種の農業体験や漁業体験などを開催して、その中に、若い人たちが交流できる場をつくり、主催団体に対し、市がバックアップしていく方式をとりたいと考えています。

また、結婚相談所の開設については、可能であれば社会福祉協議会の内部に設置をお願いし、市内外の情報をお持ちの相談員を委嘱し、相談を受けられる体制づくりを、構築していききたいと考えています。

また、結婚相談所の開設については、可能であれば社会福祉協議会の内部に設置をお願いし、市内外の情報をお持ちの相談員を委嘱し、相談を受けられる体制づくりを、構築していききたいと考えています。

## 編集後記



陽射しも一段と厳しい季節となりました。

さて、第2回定例議会は、6月14日から7月5日まで開催されました。

昨年12月5日「いすみ市」誕生に伴う、打ち切り決算の認定議案を始めとする35議案及び2件の請願並びに議員提出による議案等も審議され、決算認定議案の審議については、特別委員会を設置しての審議となりました。

また、一般質問の内容については、紙面の都合により、ほんの一部分の内容しか掲載できませんが、今回から、質問議員が重点を置いた部分について掲載するよう努めたところですので。

皆様に親しまれ、より見やすい議会だよりとなるよう編集委員一同努力してまいります。ご意見・ご感想をお寄せください。

(副編集委員長 高梨庸市)

次回定例議会は  
9月に開催されます